

第6回 江東区 みどりの基本計画改定委員会・幹事会 議事録

日 時	令和元年9月5日（木）14：00～16：00
場 所	江東区文化センター5階 第9会議室
出席者	<p>〈改定委員会委員〉</p> <p>■学識経験者 島田正文 委員長（日本大学 生物資源科学部 暮らしの生物学科特任教授） 柳井重人 副委員長（千葉大学 大学院園芸学研究科准教授） 佐藤留美 副委員長（特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長）</p> <p>■区民代表 萩原かほる 委員（江東区立小学校 PTA 連合会副会長） 梅谷真美 委員（区民応募） 西島和 委員（区民公募）</p> <p>■行政 林英彦 委員（環境清掃部長） 長尾潔 委員（都市整備部長） 並木雅登 委員（土木部長） 武越信昭 委員（教育委員会事務局次長）</p> <p>※欠席：関口朗太 委員（江東区立中学校 PTA 連合会会長） 大塚善彦 委員（政策経営部長）</p> <p>〈改定委員会幹事会委員〉 高垣克好 幹事（計画推進担当課長（政策経営部参事）） 西尾基弘 幹事（営繕課長） 吉野正則 幹事（温暖化対策課長（環境清掃部参事）） 老川和宏 幹事（都市計画課長（都市整備部参事）） 中尾英樹 幹事（道路課長） 仁平剛男 幹事（施設保全課長） 谷川寿朗 幹事（学校施設課長）</p> <p>※欠席：油井教子 幹事（企画課長） 伊藤秀一 幹事（指導室長）</p> <p>〈事務局〉 管理課：石井課長、七條係長、八巻氏、吉木氏 河川公園課：大野課長、鈴木係長 PCKK：松延、谷、酒本、福永</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> • 次第 • 資料1-1：第5回江東区みどりの基本計画改定委員会における意見と対応（概要） • 資料1-2：第5回江東区みどりの基本計画改定委員会議事録 • 資料2：江東区みどりの基本計画（素案） • 資料3：江東区みどりの基本計画改定委員会における計画書の内容に関する意見と対応 • 参考資料：江東区みどりの基本計画（資料編）

次第	<p>1. 議題</p> <p>1) 第5回改定委員会における意見と対応について</p> <p>2) 江東区みどりの基本計画素案について</p>
----	--

<議事概要>

1. 議題

1) 第5回改定委員会における意見と対応について

事務局から資料1に基づき、第5回改定委員会における意見と対応について説明した。

○委員長：皆様からの意見を踏まえて修正していただいた。本委員会にて議事録の承認がいただけたので、公表に向けた手続きを進める。

2) 江東区みどりの基本計画素案について

事務局から資料2、資料3に基づき、江東区みどりの基本計画素案について説明した。

○副委員長：24～25頁は少し勿体無い印象である。機能分析をしっかり行い、図面で整理したが、その図面が掲載されていない。きちんと分析した上で、合理的に課題を抽出し、施策を整理したといえる。また、図面を示すことは、地区別の計画にもつながるので、図示した方がよいと感じるので検討いただきたい。また、地区別に落とし込んでいく際に、32頁に地区の特徴を活かしていくことが示されていると、課題に対応する形で地区別取組方針があるとわかりやすいと思う。江東区には各地区の個性があるのでそうした視点が表現できるとよい。あわせて93頁に地区区分の図に各地区の目標が示されるとよいと感じた。緑地の機能解析結果の示し方、地区別取組方針につながる前段の整理があるとよい。45頁の計画の達成状況を示す目標について、例えば緑被率は現状の実態が示されているが、緑被率を上げていくことで都市環境を良好にしていくなど、目標としての記載があるとよい。52～53頁の文章での表現と54頁の図の凡例を見比べると分かりにくい。例えば、「事業の重点化を図るべき公園・緑地」の記載を見て、54頁の図を見ても分からない。また、水辺・潮風の散歩道の「未整備」という表現は整備方針としてよくわからない。ここはおそらく、52頁の「整備環境が整った区間から整備を進め～」に該当する区間かと思う。そうであれば対応した表現にするべきかと思う。表現で言えば、58頁に施策に関して、「●」と「★」があるが、読み進めていった際に記号の違いに引っかかった。文字入りのマークなど、表現を工夫した方がよい。

⇒事務局：他区の計画書と比較してもボリュームがあり、見やすさを意識して文字サイズを大きくしたことが要因と考えられる。全体的に文字サイズを小さくし、見出しに目がいくような工夫をして頁数を減らしていきたい。本書では、機能分析図は記載せず、資料編で整理することを想定しているが、資料編として掲載する内容を決めていない状況であり、最終的な計画案までには整理していきたい。

⇒委員長：よいレポートは途中で戻ることなく、スムーズに読み進められるものである。できるだけわかりやすく整理していただきたい。

○副委員長：42 頁のフロー図を見ると、当初計画と CIG ビジョンを合体して方針が示されているように感じる。35 頁などで関係性は示されているのでそれで十分と感じる。今回の改定では新しい視点も検討しているので、この図だけ見るとそれが印象として伝わらない。

⇒委員：当初計画に加え、基本構想が改定されたことを受けて CIG ビジョンを策定した。今の江東区のみどりの方針は当初計画と CIG ビジョンで正しい。現状の方針を踏まえつつ、新たな視点が加わっていることがわかるように工夫する必要があると感じる。

⇒副委員長：35 頁に記載されているようにも感じるので、記載するとしても簡単に整理するだけでもよいと感じる。

○副委員長：42 頁の基本方針について、当初計画の基本方針が大きく示されており、改定計画の基本方針が小さく示されており、当初計画と比較して弱く感じる。36 頁に CIG ビジョンのコラムがあるので、当初計画の基本方針はそちらに記載してもよいのではないかと思う。また、1 頁の「みどり」の定義の図について、ガーデニングが分かりにくい。ベランダガーデニングだけでなく、コミュニティガーデンも表現した方がよい。ポケットエコスペースが含まれているのは非常によいと思う。イラストに関しては、40～41 頁のイメージ図に余白が多くあることが気になる。今後どのような構成にするかなどをお聞きしたい。

⇒事務局：挿入予定のものや調整中となっているイメージ図に関しては、パブリックコメント実施前に委員の皆様へ送付し、イラストについても別途ご意見をいただきたいと考えている。

○副委員長：写真について 72 頁のコミュニティガーデンの写真は、人々が活動していることが伝わるものがよい。また、83 頁の学校林の写真についても、環境教育を実施しているようなイメージが伝わるものの方がよいと思う。また、基本方針 2 の「みどりをより柔軟に使えるようにします」として、131 頁では活動のイメージがより具体的に記載されており、例えば、NPO や区民などによる企画といった考え方が示されているが、66 頁以降の施策の部分に見えてこない。70 頁においても具体的な内容を記載した方が分かりやすいと思う。区内の NPO や活動団体からは、公園を柔軟に使いたい、それができるのか分からないという意見をよく聞く。そのような意見を踏まえて施策の部分でも具体的な記載があるとよい。131 頁では、区の役割として情報発信等といった記載が多く見られる。区がもう少し踏み込んで協働していくという姿勢が見えるとよい。情報発信だけでなく、区民が何か活動したいと思ったときに相談できる窓口が分からない。情報発信の前段として、連携をするにあたってのもう少し踏み込んだ官民連携が感じられるような内容が記載されるとよりよいと思う。

○委員：文字が大きくなり、読みやすくなった。これからの 10 年の計画として見れば十分であると思うが、パブリックコメントの資料としては重く感じる。パブリックコメントの資料として公表する際には、質問等があった際にどの頁を見ればその内容があるか伝えるなど工夫した方がよい。また、できるだけイラスト等を挿入していただければと思う。表紙も今の状態では堅く感じる。表紙を見ただけで意見を出したくなるようなものになるとよい。また、ポータルサイトができることは非常によいと思う。どこに相談できればということが話題にもあったので良いと思う。もう少しポータルサイトのことも具体的に示せばよいかと思う。

⇒事務局：パブリックコメント実施時には、本書とともに概要版も掲載する予定である。表紙については、最終的には見た目も工夫するが、パブリックコメント時には、もっと簡易なものに

なる。

⇒委員長：表紙の色分けは何を意図しているのか。

⇒事務局（PCKK）：基本方針の色分けに合わせている。

⇒副委員長：表紙は手にとってもらうために重要であるので、委員会のメンバーが確認できる機会があるとよいと思う。

⇒事務局：パブコメ後にすぐ発注するわけではないので、表紙を確認いただく機会はあるが、議会資料などの公表資料としては簡易なものになるかと思う。

⇒委員長：必ず採用されるかは別であるが、提案があれば事務局に伝えていただけると事務局としては助かるかと思う。

○委員：地区別取組方針の施策を全て行くと、44頁に記載されている目標が達成されるという捉え方でよいのか。

⇒事務局：地区別取組方針の目標は、各地区の特徴を活かし、将来どのようなまちであるとよいのかといった整理となっている。これまでの地区別の考え方や都市計画マスタープランでの地区別方針が決まっており、それと合わせるようなイメージで目標を記載しているので、区民評価に関する目標とは若干意図が異なる。

⇒委員：数字がリンクしているわけではないのか。

⇒事務局：数字はリンクしていない。

⇒委員：地区別取組方針の内容を見ると区が整備するのを待っていればよいように感じる。自分が何をすべきかがイメージできない印象である。例えば、区民の活動により目標の数値にどれくらい近づくなどわかりやすく示されるとよいと感じた。

⇒事務局：区民協働に関しては、基本方針4に整理している。例えば小学校、区民、事業者と連携してポケットエコスペースを活用するなどの内容は示している。

⇒委員：計画書で整理せず、別途の情報発信等で活動のヒントが示されるとよいと感じた。

○委員：4つの基本方針に基づいて細かく記載してあり、とてもわかりやすく最後まで読むことができた。写真も多く、文字も大きくて見やすかった。また、コラムもあり、楽しく拝見させていただいた。一方で読みやすいが、空白頁が多いように感じた。内容に関しては特に意見はない。

⇒委員長：ここまで褒めていただけることは滅多にない。空白頁が多いのは気になる。

⇒事務局：ボリュームが多いので、文字の大きさも含めて調整する。また、写真やイラストを挿入して空白頁がないようにする。

⇒委員長：副委員長の意見にもあったが、写真は区民が活動しているようなものがよい。

○副委員長：131～132頁にはイメージを分かりやすくするために写真を挿入していただきたい。また、133頁の「計画実現に向けた進行管理体制」の図を大きくしていただきたい。この図において、観光協会や商工会等の団体はどこに含まれるのか。「各種団体」というような表現があった方がよいのではないかと。NPO団体が二つ記載されている意図は何か。全体のバランスをみると重要なのはわかるが学識経験者の表現が大きすぎると感じる。

○委員：「計画実現に向けた進行管理体制」の図は大きくした方がよいと思う。区と区立学校を分けて整理しているのはどのような意図か。

⇒事務局：前回の意見は、学校が区の枠に含まれているのは違和感があるという趣旨であったと思う。例えば、PTAは区民に含まれるが、行政の枠として区立学校をまとめている。推進会議は、区民団体から5人、行政から5人、事業者を含めた団体から5人程度の15人程度の会議体を現在想定しており、具体的なメンバーについては今後検討を進めていくことになる。

⇒委員：区と区立学校を並列で並べることに关しては、色々な見方ができるが、教育委員会としてはどうお考えか。

⇒委員：教育委員会としては、区立学校は区に含まれると感じる。区でまとめてよいかと思う。

⇒委員長：教育機関としてまとめて整理してもよいということか。

⇒委員：そうした考えもあるし、区として整理してもよいと感じる。

⇒事務局：教育との連携がこれまでの計画に足りていなかった視点である。様々な団体があるが、基本的には都市緑地法を踏まえ、区民、区、事業者の3つのトライアングルを基本に考えている。

⇒委員長：これまで以上に小・中学校には協力いただけないかと考えている。表記は任せるが、趣旨は伝わるようにしていただければと思う。

○副委員長：分かりやすさで言うと、46頁の「区立施設における新たな緑化面積」と「区民・事業者による新たな緑化面積」の実績値とは何か。要するに、区立施設で言えば緑化基準に基づき、一定規模以上の開発の際に緑地を確保していくということが実績値という理解でよいか。

⇒事務局：みどりの条例に基づき、公共施設だけでなく民間施設も敷地面積に対する一定の緑地を確保していただいております、その数値を年度別に集計している。

⇒副委員長：目標としての実績値というのは、その年によって何件出るか異なるため、10年後にどれくらい増えるかが言えないということかと思うが、実績ということが初見で分かるかということに危惧している。単純に言えば、出てきた案件に対して100%緑化基準に基づき緑化するということが目標の考え方かと思う。初めて見える人にもわかるようにした方がよい。

○副委員長：63頁の「みどりを活かしたにぎわいづくり」に、「保護樹木・保護樹林助成制度による保全」とあるが、にぎわいづくりとどう関係するのか分からない。62頁の景観づくりに含めた方がよいのではないか。また同様に、81頁に「地域に愛されるみどりの保全」とあるが、みんなですり育てるとしてよいかと思うが、内容を見ると所有者の意向次第のように感じる。書き方の問題かと思うが、地域に愛されるみどりを担保していくことが分かるようにするなど、見出しと内容に違和感があるので、少し工夫していただけるとよいかと思う。

○副委員長：131頁の「みどりをより柔軟に使えるようにします」の「活動のイメージ1」について、後援を行うのは企業だけではないように感じる。国分寺では市民が企画したイベント等を実施しており、企業だけでなく大学や商工会など様々な団体が協賛している。もう少し柔軟な表現にいただければと思う。

○委員長：リスクマネジメントに触れていただきたい。そのような内容はあるが、もっと幅広い内容である。策定後にすぐ古くなる計画は避けたい。最近の社会動向として、職場でも家庭でもない新たなコミュニティとなるサードプレイスの考え方がある。そのひとつが公園ではないかと言

われている。そのような公園に求められている視点を示していただけるとよい。西東京市では、公園の見直しが評価されている。

⇒副委員長：小さな公園プロジェクトとして、特徴や個性のある公園づくりを行っている。小さな街区公園は人が行かなくなると管理が不十分になる。

⇒委員長：知恵や仕掛けで対応できるものもあると思うので、もうひと工夫加えていただけるとよい。

⇒副委員長：都立公園でもサードプレイスづくりを進めている。地元のカフェやパン屋の移動販売車の周りでワークショップを行っている。その結果、居場所として活用していただけるようになった。また、「ピクニックヘブン」というイベントは、住民企画からスタートし、実行委員会を立ち上げ、その委員会によって運営されている。相談窓口となるポータルがあると、様々な意見を吸収できると思う。公園がコミュニティを醸成し、まちに染み出していく場所として示せるとよい。131頁の「活動のイメージ」の中に、公園でのコミュニティカフェのイメージを示していただけると、サードプレイスのイメージがしやすいと思う。

⇒副委員長：「居場所としての公園」、「居場所としての活動」というのがあり、松戸市で民有樹林の保全と居場所づくりを行っている。活動にはリタイアした世代や子育てを終えた世代が参加しているが、サードプレイスは現役世代とこどもにこそ必要であると感じている。こどもたちの居場所として、空き地の遊び場づくりの活動を行っている。リタイア世代には、家にしか居場所がなく、緑化活動や森の保全活動などがサードプレイスとなる活動かと思う。そうした活動をみると、多世代の人と付き合う場所は必要だと感じる。これらの活動はボランティアとして行っているが、年金が厳しくなってきたときに、少し小遣い稼ぎができるような仕組みを持った新しいコミュニティづくりができればよいと考えている。

○幹事：2頁の計画の位置付けの図が、当初計画と異なっている点がある。修正するところがあれば修正した方がよい。長期計画でパブリックコメントを実施し、地元説明会を行っているが、内容が盛りだくさんで地元からは分かりにくいという意見をいただいたので、パブリックコメントの仕方や見せ方についても工夫した方がよいと思う。せっかく良いものが出来つつあり、また長期計画でも水とみどりに重きを置いているので、計画策定後の予算要求の際に、みどりの基本計画からの施策提案があることを期待している。

○委員：特に意見としてはない。感想としてはボリュームが多いと感じる。環境基本計画も同時に進めているが、見せ方についてはみどりの基本計画の方がよりわかりやすいと思う。

○委員：素案に対する意見は特にない。基本理念に「みどりの中の都市（CIG）の実現」を掲げており、CIGが波及していくことが重要である。その一方で、本計画が策定されるとCIGビジョンの影が薄くなり、CIG実現会議やCIGサポーター会議も統合されることで、CIGの名前が消えていくことが心配である。CIGの名前が消えないように頑張っていただければと思う。

⇒委員長：CIGは本来実施計画並みのものであり、その上位計画としてみどりの基本計画があると認識している。

⇒事務局：CIGは緑化推進事業の総称であるため、なくなることはない。

○委員：だいぶ見やすくなったと思う。写真やイラストが挿入されればよいと思う。これは計画で

あるので、目標を掲げ、達成のための施策を進めていくことが重要である。教育委員会としても施策を進めていきたいと思う。

⇒委員長：134頁のPDCAサイクルの図について、Checkに「広く区民から意見を募集します」とあるが、「意見を募集し、それを基に改善する」など、一步踏み込んだ整理がされるとよい。また、Actの「長期計画の見直しにあわせて」に関しても、Checkの内容を踏まえるというような表現にするなど、もう少し工夫されるとよい。

○委員：委員の皆様のご指導の下、ここまでまとめられた。新しいみどりの基本計画は、区民や事業者との連携が重要な視点であると思うので、わかりやすさは重要と考えている。改めていただいた意見をきっちりと反映させられるように努めていく。最後にCIGに対する意見を受けて、本計画が改定されることで当初計画とCIGビジョンは役割を終えた形になるが、考え方としては踏襲していくものであるので、CIGの実現に向けてという表現は必要かと感じた。

一以上